

第5次レッドデータブック： 絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

トチカガミ

Hydrocharis dubia

日本植物分類学会

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 総管束植物分科会



令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：日本植物分類学会. 2025. トチカガミ. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Japanese Society for Plant Systematics. 2025. *Hydrocharis dubia*. In: Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

被子植物門 Angiospermae トチカガミ科 Hydrocharitaceae

トチカガミ

Hydrocharis dubia

カテゴリー判定結果 準絶滅危惧 (NT)

(2)

分布域の一部において、池沼開発による生育条件の悪化が指摘されている。

評価分科会： 維管束植物分科会

基礎情報

葉身は円心形で径 4-7 cm。雄の苞鞘には 4-6 個の雄花ができ、雌の苞鞘には 1 個の雌花ができる。どちらも花柄が 3-8 cm に伸び、水上で開花。浮遊性の多年草で、栄養塩類の多い湖沼、ため池、水田、水路などに生育する。国内では本州～九州に、国外ではアジア、オーストラリアの温帯～熱帯に分布する。

特記事項

特になし

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	トチカガミ	<i>Hydrocharis dubia</i>	NT
第4次 2019:	トチカガミ	<i>Hydrocharis dubia</i>	NT
第4次 2018:	トチカガミ	<i>Hydrocharis dubia</i>	NT
第4次 2017:	トチカガミ	<i>Hydrocharis dubia</i>	NT
第4次 2015:	トチカガミ	<i>Hydrocharis dubia</i>	NT
第4次:	トチカガミ	<i>Hydrocharis dubia</i>	NT
第3次:	トチカガミ	<i>Hydrocharis dubia</i>	NT
第2次:	—	—	—
第1次:	—	—	—

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

青森県[最重要希少野生生物(A ランク)] 岩手県[絶滅(Ex)] 宮城県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 秋田県[EN] 山形県[絶滅危惧ⅠB類(EN)] 福島県[絶滅危惧ⅠA類(CR)] 茨城県[絶滅危惧Ⅱ類] 栃木県[絶滅危惧Ⅰ類(A ランク)] 群馬県[絶滅危惧ⅠA類(CR)] 埼玉県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 千葉県[要保護生物(C)] 東京都(本土部)[区部:絶滅(EX) 本土部:絶滅危惧ⅠA類(CR)] 東京都(北多摩)[絶滅危惧ⅠA類(CR)] 神奈川県[絶滅(EX)] 新潟県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 富山県[絶滅危惧Ⅰ類] 石川県[絶滅危惧Ⅰ類(CR)] 福井県[県域絶滅危惧Ⅰ類] 長野県[絶滅(EX)] 岐阜県[絶滅危惧Ⅰ類] 静岡県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 愛知県[絶滅危惧ⅠB類]

(EN)] 三重県[絶滅危惧 IB 類(EN)] 滋賀県[その他重要種] 京都府[絶滅危惧種] 大阪府[CR+EN] 兵庫県[絶滅(EX)] 奈良県[絶滅種] 和歌山県[絶滅危惧 I B 類(EN)] 島根県[絶滅危惧 II 類(VU)] 岡山県[絶滅危惧 II 類] 広島県[情報不足(DD)] 山口県[絶滅危惧 I A 類(CR)] 徳島県[絶滅危惧 IA 類] 香川県[絶滅危惧 I 類(CR+EN)] 愛媛県[絶滅危惧 IA 類(CR)] 高知県[情報不足(DD)] 福岡県[絶滅危惧 I A 類] 佐賀県[絶滅危惧 I 類種] 長崎県[絶滅危惧 I A 類(CR)] 熊本県[絶滅危惧 I A 類(CR)] 大分県[情報不足(DD)] 宮崎県[絶滅(EX-r)] 鹿児島県[絶滅危惧 I 類] 沖縄県[絶滅(EX)]

保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

指定なし

参考文献

- 大橋広好・門田祐一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編），2015. 改訂新版日本の野生植物 1. 391pp., 272pls. 平凡社，東京.

アセスメントサマリー (Assessment summary)

Hydrocharis dubia has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Hydrocharis dubia* is listed as NT under criteria ②.

Judging from changes in habitat conditions, it is judged that the pressure on the survival of the species is increasing. Specifically, in part of the distribution area, one of the following trends is prominent and will further progress in the future.

② Habitat conditions are deteriorating.

Law designation status for conservation	—
-----------------------------------------	---

執筆者: 日本植物分類学会
Author: Japanese Society for Plant Systematics

公表年月：2025年3月